

メーデー宣言（確定）

組合員の皆さん、県民の皆さん

私たちは、ここ三光荘前旭川河川敷に於いて第81回岡山県中央メーデーを開催し、本日本ここに800名がつどい、集会を成功させました。長引く不況の中で働く者の生活と中小業者の営業は厳しい状態になっています。今日の日本の状況は、政治と経済、環境のあらゆる場面で資本主義の矛盾が噴き出しています。新自由主義に基づく構造改革は貧困と格差を生みだし、大企業と一握りの金持ちが社会の富を独占する社会を増幅させました。昨年の総選挙で国民が鳩山民主党政権に託したものは一体何であったのかが、改めて問われています。支持率が20%台にまで下落した鳩山政権は、国民の世論を気にしながらも、大企業とアメリカに追随した政治を続けています。一方で自民党は、自らが進めてきた構造改革路線の遂行を鳩山政権に迫り続け、党存続の危機を迎えていながらも、さらに分裂を繰り返し、構造改革推進の政治手法と生き残りをかけ混迷を深めています。日本の経済は1000兆円を超える地方と国の債務残高の解消に向けて、どう立ち向かっていくのかが政治の場でも鋭く問われています。大企業中心、アメリカ追随の政治では赤字は増え続け、国民生活と日本経済の悪化は深まるばかりです。財界の経営者たちは、「我が亡き後に洪水よ、来たれ」と言わんばかりの身勝手な振る舞いを続け、今日の深刻な経済状況・地球温暖化を迎えても尚、反省の様子さえ見られません。これを許しているのが鳩山政権であり、不況と地球温暖化に歯止めをかけられない障害がここに 있습니다。労働者の使い捨て、自己責任による競争とストレス社会ではなく、意欲を持って働き、持続可能な循環社会をつくりだす総意と工夫、技術が求められています。今さえよければ将来のことなど眼中にない資本家と政権党与党の無責任ぶりは絶対に許されるものではありません。10年間に内部留保を2倍にして、社会にも労働者の賃金にも還元しない大企業の横暴を規制する社会のルールが求められています。政治に求められている財源の山はここに 있습니다。アメリカの軍事力の傘に縛られ移設先探しに奔走するような政権でなく、国民の要求や世界水準にふさわしい社会制度の実現、憲法を大切に国民が生きることへの希望が持てる社会の実現に向けて、私たち労働者・国民の政治を変える力をさらに前に進める必要があります。独立国としての誇りを持ち、沖縄の普天間基地問題に見られる米軍基地の無条件撤去を求めることは主権国家として当然であり、鳩山首相はこの立場で対米交渉すべきです。計画経済による安定して社会の実現、働くルールの確立に向けてご一緒に奮闘しましょう。そして、皆さん、何よりもこの美しい地球と地域環境を守りましょう。傍若無人^{ぼうじやくわじん}の資本の対極に立ちあがるのは私たち働くものの団結と闘いです。

運動をさらに発展させ、7月の参議院選挙では国民が主人公となる政治の変革をめざすことを決意してメーデー宣言とします。

働く者の祭典・メーデー万歳。

2010年5月1日

第81回岡山県中央メーデー実行委員会